

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

## Zoomによるオンライン講義

受講希望者は前日12月8日(水)17時までに、下記の連絡先まで問い合わせてください。

なお、本学の学生について出席確認のため本講義を受ける際は本学の機関登録をしたZoom IDとパスワードでログインするようお願いします。

### 記

演題：歯周炎発症および進展機構の解明から骨再生を含めた臨床展開と口腔未来科学

講師：新潟大学大学院医歯学総合研究科 高度口腔機能教育研究センター  
研究教授 前川 知樹 先生

日時：2021年12月9日(木) 17:30~19:30

歯周炎は口腔粘膜における宿主菌叢恒常性の破綻が招く疾患である。歯周炎は培養法により同定された、*Porphyromonas gingivalis* (P.g)によって引き起こされると考えられてきた。しかしながらP.gが、常在菌を保有するSPFマウスでは歯周病を誘導するものの、germ freeマウスでは歯周病を誘導しないことを示し、P.gは常在菌のdysbiosisを引き起こすことで宿主に影響を及ぼすKeystone細菌であるという概念を確立した1,2)。Keystone細菌P.gだけを特異的に除去する歯周炎治療について、マウスモデル3)やサルモデル4)を使用した研究からヒトへの臨床試験5,6)へ発展した流れとともに、細菌側と宿主側をそれぞれターゲットとした治療法の展開7)について議論したい。さらに、環境に応じて変化する口腔細菌と進化を組み合わせた口腔未来科学概念も合わせて紹介したい。

1) Cell Host Microbe, 2011, 2014.

- 2) Nat Rev Immunol, 2012.
- 3) J Immunol, 2014.
- 4) Sci Trans Med, 2015.
- 5) Trends Immunol, 2021.
- 6) J Clin Invest, 2021.
- 7) JCI Insight, 2020.

細菌感染制御学分野 鈴木敏彦

(連絡先 : 飯田真珠子 tamaiida.bact@tmd.ac.jp)